

## 令和四年度 大阪府立清水谷高等学校

### 第七十五回 卒業証書授与式 式辞

梅が馥郁と香り、正門の坂の桜も蕾を蓄えて、新たな季節の到来を感じさせる早春のこの佳き日に、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに大阪府立清水谷高等学校 令和四年度 第七十五回卒業証書授与式を挙行できますことは誠に慶びに堪えません。

只今、卒業証書を授与されました清水谷高等学校第七十五期 二百七十七名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。清水谷高校を代表して皆さんのご卒業を心からお祝いたします。

保護者の皆さまには新型コロナウイルス感染症に混乱させられる中、本日より卒業の日をお迎えになられましたお喜びは如何ばかりかと拝察します。入学時から三年間、なかなか校内に入れない制約ばかりの教育活動に、特段のご理解とご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。有難うございました。

さて、卒業生の皆さん、周りを見回しましょう。

今日の式では、皆さんは歌の時以外マスクを外すことができます。互いの表情を満面で確認できます。この三年間で初めてのことです。無論外したくない人に強制はありません。しかし、これは何故でしょう。

丁度三年前、新型コロナウイルス感染症が未知の恐怖として世界中

を不安に陥れる中、時の首相が全国の小、中、高校などに對して三月から春休み明けまで学校休業を要請し、春休みが明ける四月八日に予定していた皆さんの入学式は、前日に政府が緊急事態宣言を七都府県に出したことで延期になりました。緊急事態宣言はその後逃げ水の如く五月末まで延長になり、皆さんが初めて清水谷高校に登校したのは五月半ばの分散登校でした。このため皆さんは清水谷高校の百二十年の歴史の中で恐らく前例のない「入学式がない学年」になりました。今日の措置は、来年度からの高校のコロナ対応を一日だけ特別に先取りするものです。せめて卒業式はマスク無しでの晴れの日にさせてくれたものと私は感謝しています。

この三年間、皆さんは授業や体育祭、文化祭、修学旅行などで新型コロナに何度も翻弄されながらよく耐えて頑張りました。皆さんが大人はいったい何をしているんだという思いを持って不思議ありません。テレビはコロナの感染者や死者を毎日数で追うばかり。数字の一つ一つは大切な人の命だというのに。有効なワクチンや治療薬は改米の後進いがやっど。そもそも、もとを正せば、自然調和していた野生動物の世界に人が踏み込んで危険なウイルスを持ち帰ったんじゃないか。同じことはウクライナの戦争にも言える。静かに平和な暮らしをしていた無辜の人の幸せや命を奪う意味は何だ。誰のための戦争なのか、いつまで戦争するのか。兵器は武器商人や一部の会社

を富ませ、世界の貧富の差を更に拡大するのか、と。

本校が出来た一九〇〇年に亡くなった思想家のニーチエは「神は死んだ」と言った。恐れを失った人類は、科学万能とばかり、欲望のまま自然破壊や戦争を行って、スペイン風邪と二度の大戦で、それぞれ一億人もの人間を殺した。この地上にこんな生き物は他にはいない。こんなことをまだ繰り返すのか、と。半世紀早く生まれて今の社会を作ってきた私にはこのことに責任がある。ただ、一生懸命やってきた。日本は貧しかった。食べていくのもそう楽ではなかった。携帯もコンビニも宅配もエアコンもなかった。ウォシユレットもなかった。紆余曲折を経て日本は豊かになり、八十年近く他国と武力で争わず、G7の一つとしての役割を果たす国になった。十八歳で成人になる今、これから、皆さんが新しい時代を一緒に作ってほしい。

本校の初代校長の大村忠二郎先生は、『愛と怒』を本校教育の精神として掲げました。これは西洋の基督教的な無償の愛、自他を慈しむ寛い心と、東洋の儒教的な怒、一切を許し包容して向上する心を合わせた精神だと思います。現代のキーワードで言えば『多様性と共生』ということになるでしょう。清水谷高校に伝わるこの精神こそ、これからの人間にとって重要な支えになるのではないか、即ち人種や宗教、国や性の違い、障がいの有無などを超えて多様性を認め、それを活か

し、共生していく時代が何れ必ず来るのではないかと信じます。寛容でなければ今後地球上に百億の人口を養うことはできないでしょう。結びに私が尊敬する科学者であるホーキング博士の最後の本『Brief Answers to the Big Questions』にある最後の言葉を伝えます。

So remember to look up at the stars and not down at your feet. Try to make sense of what you see and wonder about what makes the universe exist. Be curious.

And however difficult life may seem, there is always something you can do and succeed at.

It matters that you don't just give up.

Unleash your imagination. Shape the future. 「過去に拘って下を向かずに、未来へ広がる星を見上げよう。目に入る物の意味を知り、宇宙のことを考えよう。好奇心を大切に。どんなに困難にぶつかっても必ず何とかなる。諦めないで。想像力を解放して。未来を創れ。」 Stay Confident. Stay Elegant. 清水谷生らしく、優雅、堂々とした人生を生きてください。

人生の目的は幸せになることです。皆さんの幸せを祈ります。

令和五年二月二十八日

大阪府立清水谷高等学校 校長 日笠 賢